

横手市ミライの漫画家発掘マガジン

ミライガ★

横手市がら育で!!
ミライの漫画家!

横手市内の
小中学生から作品を募集!!

タイムアップ決定!!!

全107作品
を掲載!

2022

マンガ教室で
レベルアップ!

エントリニして
くれた子には、
「マンガの描き方
BOOK」を
プレゼント
したよ!!!!

編集者さんからの
コメント付!





「ミラマカ☆」

「いつか『今、描くこと』、未来につながるよという鬼いこを込めた。
 マカシニ加慕の対象者である、小4の中3の子たちが毎日の学校生活や、
 遊んで得るものはかけがえのないものだと思えます。
 マカシを描きたい子にしてみても、それは同じで、
 ただ、マカシを描くだけでなく、日々色々なことを学び、遊び、
 経験するなかで、絵を描く時も、マカシを描く時も、とても大事なことです。
 その『過去』の経験や、着実にマカシを描く礎になっていくことを
 知ってほしいと思えます。」

「今、が豆郎であり、『過去』が豆郎である。
 そして『未来』は...」

豆郎はビーズ隊長の描くマカシが好きで、目標だ。
 豆郎にとって、ビーズ隊長は理想であり、憧れの存在だ。
 でも、ビーズ隊長が有名人なのか、どこから来たのかは知らない。
 どうしたらビーズ隊長のようにになれるのか知れた豆郎に、
 ビーズ隊長は「お前がその星を60集めたら、まじかかると言う。
 星のバツは... 豆郎がマカシにマカシを加慕してきた3年間の証、

「過去」を積むこと。『今』描くこと。それが『未来』を生んでいくこと。

「ミラマカ☆」に私はそんな鬼いこを込めたんです。 2022年1月
 横濱市磯子区磯子 磯子図書館
 二の

◎発刊にあたって

今回で3度目の開催となったこのマガジン制作プロジェクトには、小学生81名、中学生26名が参加し、100名を超える方に作品を提出いただきました。中には、3年連続提出していただいた方もおり、これまで以上にそれぞれの想いが詰まった素晴らしい作品が集まりました。

このプロジェクトの目玉の1つに、マンガ作品の提出者を対象とした『マンガ教室』があります。夏休み中に開催したマンガ教室には、延べ53人の方にご参加いただき、プロの漫画家の先生からマンガの描き方について指導、アドバイスをしました。マンガ教室は、個人ごとのペースやレベルにあったアドバイスを行います。白紙の原稿用紙を持ってきて、ストーリー作りから行う子もいれば、仕上げの背景の書き方や、スクリーントーンの貼り方を教わる子まで本当に十人十色です。先生に聞きたいことが多くて何度も参加する子もいます。プロの漫画家から直接アドバイスを頂ける貴重な機会に、参加した子どもたちからは、「楽しかった」「とても参考になった」という感想をいただいています。ぜひ来年も多くの方にご参加いただきたい取り組みとなっています。

また、今年度の新たな取り組みとして、このマガジンがより多くの方に親しみを持って読んでいただけるように、マンガ作品を提出頂いた方からマガジンのタイトルを募集しました。その結果、『ミラマガ☆』というタイトルに決定しました。この『ミラマガ☆』というタイトルには、「未来の漫画家が、このプロジェクトの参加者から出てほしい」「このマガジンを見て、みんなが楽しくなって、横手のミライが輝いてほしい」という想いが込められています。タイトルに込められた想い通り、このプロジェクトを通して、横手市内の子どもたちの中から、未来の漫画家がたくさん羽ばたくことを願っています。

横手市マンガ活用事業実行委員会

◎マガジンタイトルの募集結果

当プロジェクトの参加者からマガジンのタイトルを募集しました。

応募いただいた中から、マンガ活用事業実行委員会で協議しタイトルが決定しました。『ミラマガ☆』のほかにも、すてきなタイトル案がありましたので、その一部を紹介します。

- ・【横手っ子マガジン】…横手の子どもたちが将来、漫画家になって活躍しますように横手発のマガジンとしてPRしたい!
- ・【みんなのマガジン】…色々な人が、色々な想いを込めて描いた作品がつまっている
- ・【ドリームマガジン】…みんなの夢と希望が込められているマガジン
- ・【BRIGHT】…明るい、かがやく、わたしの漫画をイメージして
- ・【宝マガジン】…みんなの努力の結晶がつまっているマガジン
- ・【スタート!】…「漫画家へスタート!」という想いを込めて
- ・【横手がおブック】…みんなに笑顔になってほしいという願いを込めて
- ・【レインボー】…マガジンの中に、一人一人の個性がそれぞれの色として輝いて、虹ようだったから

横手市マンガ活用教育推進事業
マガジンせいさくプロジェクト概要



【応募資格】横手市内の学校に通う小学校4年生～中学校3年生

【エントリー締切】R3.7/2(金)
(提出先：学校)

【作品提出締切】R3.8/31(火)
(提出先：学校、まんが美術館)

- 4コマ部門(2作品)※1枚
- ストーリー部門(1作品)※1～16枚以内

作ろう！



横手市内の小中学生を対象に、マンガを描く体験を通して子どもたちの想像力や表現力、1つのストーリーを自分で最後まで完結させる力を育み、横手市にまんが美術館があるからこそできる特別な学びの中で、マンガ文化への理解を深めるとともに将来の漫画家の発掘につながるプロジェクトを目指します。

【マガジンができるまでの道のり】

- ① 作品募集
横手市内の学校に通う小中学生を対象に作品を募集！4コマ部門とストーリーの2部門から好きな方を選んでチャレンジ！参加者にはまんが美術館特製「マンガの描き方」冊子をプレゼント！
- ② マンガ教室
マンガの基本や描き方をプロの漫画家の先生から教えてもらえる教室を開催。1人1人に合わせたアドバイスが受けられ、プロが使っている道具も自由に使えると大好評。(開催日：2021年7月27日、7月29日、8月3日、8月18日、8月19日 ※各日午前午後の2回開催)
- ③ 講評会
編集者さんや漫画家の先生を美術館にお招きして「講評会」を開催する予定でしたが、今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から残念ながら中止となりました。講評会はできませんでしたが、すべての作品に編集者さんや漫画家の先生からのコメントをいただいています！アドバイスを活かして更にステップアップしよう！
- ④ マガジン発刊
子どもたちが一生懸命描いてくれたマンガを1冊のマガジンにして、横手市内公施設等に配布！子どもたちの夢への一歩を応援します！